

2020/10/23 テコテックSSレビュー

■保険料レンジ取得API

入力パラメータチェックについて

性別はコード値を参照すること。
コード系に関してはコード値を参照

・保険料レンジ取得APIの中身のチェックをどこまでやるのか。
基幹系の戻り値によって対応してくれれば良い。（石井）

・保険料算出約款DTOとは？
→保険料レンジ取得APIの戻り値（基幹システムの）

・保険料レンジ取得DTOとは？
→保険料レンジ取得APIが返す戻り値のこと

・販売商品ごとに返す必要はない？
→販売商品を複数まとめて送る？

APIインターフェース定義書を修正する必要がある。
→ここはインプットのパラメータを検討する必要がある（サスケ 宿題）

■基幹系基盤API共通処理

・Loop1というのはなんのループ？
→トランザクションが失敗した場合のリトライ用です

トランザクションの開始はリードロックのことを表している？
→楽観ロックなのでリードロックではない？

※一旦中断→再開

Redis使用を検討している。

Redisの仕組み

複数来たときにスレッドセーフなのかどうかが見えない
Loop1の目的、Loop2の目的を明確にする。

プロセス詳細のところが文章になってしまっているので、他の詳細設計書に合わせて

可視化するようにしてほしい。（石井）

インプットとアウトプットの対応が見られるとありがたい。

予期せぬエラーが発生した場合の補足を入れるようにしてください。

監視することはできないか？（石井）

→redisの値になるので、どこかで監視用のバッチなのかcloudwatchなのか。
何らかの方法でアクセスできるはずです（飯田）

■保険料計算APIについて

バックログのインターフェースを確認し、修正する。
引数は商品単位で複数来るものという想定→（サスケ 宿題）

保険料計算API（生年月日、性別、機関チェックフラグ、計算対象商品[...]）

販売条件チェックAPIに保険料が必要
→フローを前後させる

保険料計算APIはまとめてとってきてくれるので、こういった構成になっている。

■データメンテナンス

論理削除が失敗するケースは？タイムアウトぐらい
論理削除する粒度は、まとめてアップデートする方針で検討を進める。（飯田）

物理削除については、アカウントが削除対象で、それに紐づくデータが自動で削除される。

論理削除は、申し込み配下が対象。
なのでアカウントは削除しないようにする。（テコ飯田）

申込中の判定のところがまだふわっとしている。

バッチ単位でトランザクションはるか、申込単位でトランザクションを貼るのか。。
10月いっぱいには判断できるか？（石井）
→できます（テコ飯田）

レスポンスの形式をどうするか？（テコ飯田）
一括で削除すると、特定するIDがとってこれないかも。
→レスポンスは配列1個

■パスワード再設定について

Md5ではなくsha26に変更したい。
→承知した。（石井）

パスワードテーブルのパスワードがPK
履歴を持っているということで問題ないか？
→そうです。

■アカウント参照API

→削除することになっていた

■アカウント認証API

ログイン試行回数をどこでやっている？
→シーケンス図に記載がないので、追加で表現するようにします。

認証情報、個人、電話番号を個別に取得しようとしているのは？
→個人と、電話番号が1対多の関係なのでそのようにしている。

・入力チェック
型チェックが入っていない
→認識はしているが、全体的に見直しする予定なので、そのタイミングで統一を図るようにします。

・IDは文字列で入ってくる？
→

下記の方針とさせていただきます（テコテック）
・取得系に使うものについては型チェックはやらない。必須入力
・更新系については、型チェックなどもチェックする

2. 認証情報取得
外部認証のところはパスワードいらない。

戻り値に入れるメッセージはどういったものを返す？
→エラーコードで整理する？
→エラーのパターンごとにコードを設けて、エラーコードで判別してもらう。メッセージについては、参考程度に。
→表示できるものについてはターゲット込で

6,
ここが失敗した場合は？更新結果が0件だった場合は？
→見つからない場合は本登録日時が入っているはず。
その場合はエラーで返したほうがいいのか？

認証情報をとってくるところでチェックをかけたらいいのではないか
本登録日時も取得するようにしてここでチェックする
→3番に追加するようにいたします。
→レスポンスコードは401で問題ないか？

→いったん401にしてもらって、エラーコードを変えるようにしてください

■告知開始API

AURAに関してもElastiCacheを使う方針で良い？

→そうです（石井）

・ここだけ通信エラーが書かれているのが気になりました。
ほかのところは書いていないですよね？
→共通してエラー時は500で返却するのでこの設計書に対しては記載しないようにする

2番でバージョン番号もとってこないかね。

6.
AURAの設計書と照らし合わせてチェックしたい。

インテグレーションガイドに記載がないんでしたっけ？
→こちらについては別途レビューしましょう（★ ここはまたあとでレビューする）

Sessionが存在するかどうかは返ってきた戻り値にセッション情報が返ってくるのでそれで存在を判断する。

Session が存在する場合：200

Session が存在しない場合：404

が返ってくる

→後ほど実際に確認する（テコテック 宿題）

このタイミングで有効期限をチェックする必要があるか？
→トークン有効期限切れが発生していた場合、再発行する処理を追加する（テコテック 宿題）

AURA側から500が返ってきた場合の想定。

→その場合は通信エラーではなく、システムエラーではないか

→承知した。

9.
ロケールコードは必要ではないか？
→input.xmlに含まれている想定でしたが、記載が必要なので修正する（テコテック 宿題）

質問取得結果DTOはAURA側の仕様なので、あんまり詳細は記載したくない。

→最終的にはAURA仕様書を参照と記載はするものの、この程度は書いておいていいのでは？

レスポンスとしてステータスを返す想定だが、あえて取得する必要があるか？
→再開時には必要がないと考えている（石井）

■告知回答API

質問の省略が発生する可能性がある。

サブ質問のところをGETALLに変える

ETagの管理をどうするか？

→ElastiCacheの中で管理する？

→画面に返してあげて

→ここはいったん整理をする（テコテック 宿題）

この辺の処理は共通化します？

→utilとして共通化する予定です。

AURA質問取得でエラーとなった場合は500でよいか？

→基本的にはおこりえないので500でよい（石井）

■連絡参照API

変更がありそう。

紐づき先がかわる？

→アカウントにも紐づくし、個人のように色んな所に紐づく

最新の商品付加バージョンをとってくる場所は、View化します？

→Viewにするほうがシンプルになると思っている。

→検討する（サスケ 宿題）

■連絡対応済みAPI

更新対象0件については、追記する。

このまま進めていいと言っていたのは、実装まで含めているか？（川人）

→いや、実装は待ったほうがいいと思います。（石井）

→設計書の方は、変わる可能性が高いが、いったんこのままにします。（川人）

■メール関連の質問（若林）

連絡追加APIは表記ゆれ？

→CRM側から使用のAPI

→テコテックはいったん待ちスタンスでいい

連絡テーブルが作成されてメール送信？

→連絡レコードを元にメールを送信する。

連絡レコードはどのタイミングで作成されるのか？

→メッセージボックスとタイミングは一緒だが、

→連絡レコードを作成してから連絡レコードを参照してメール送信する流れが正しい（石井）

どのように送信されているのか？（若林）

メール送信についての質問について回答する（サスケ 宿題）

連絡テーブル.送信ステータスの候補を確定させる（サスケ 宿題）

・メール設計書

ID1,2,3はバウンス管理対象か

→そうです。

ID3

連絡レコードの作成とメール送信を一体化する処理を検討している。

→メールを送信すべき時間帯がある。

→そこが満たせるかどうかを懸念している

→連絡レコードを担当、メール送信担当を分けて設計しておいたほうが良さそう。

■帳表について

オンメモリ上で実装する方向ですすめる。

→一時ファイルは作成しない

2周目の告知書控え、本人確認書類については、前バージョンのコピー？

1周目、2周目以外にもパターンが存在するか？

→可能性はある（石井）

→電話番号に不備があって修正してもらうとか。

パターンを洗い出すとしたら、どうしたらよいか（若林）

→先程お見せした資料をいったん連携する（石井）

本人確認書類が、アップロードされるようなケースがある場合、本人確認書類のみ更新するケースも可能性としてはある。

PDF生成処理についてはほぼ要件は固まったので、そのあたりから設計を進めます。（若林）